



新聞記者に学ぶ (NPO・ボランティア団体向け) 情報発信スキルアップ講座

朝日新聞の記者経験者から、読み手に伝わる文章の書き方や広報紙作りの基礎を学びます。伝えたいことを文章で表現するのは苦手という方も「書いてみたい」意欲が湧く講座です。NPO・ボランティア活動の魅力や楽しさが伝わる文章を書いて、情報発信力を高めましょう。

【日程】基礎編 令和4年1月29日(土)~2月26日(土) 13:00~14:30 **全4回**
応用編 令和4年1月29日(土)~2月26日(土) 14:45~16:15 **全4回**

【会場】かながわ県民センター11階 かながわコミュニティカレッジ講義室

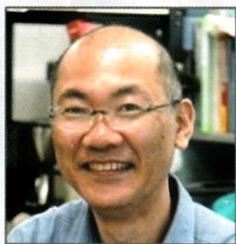
【受講料】基礎編 3,000円 応用編 3,000円 【定員】各30名 【申込締切】1月13日(木)

※基礎編、応用編の講座どちらか、または両講座のお申込みが可能です。

※応募者多数の場合は、基礎編、応用編それぞれ抽選となります。

※定員に達しない場合は引き続き先着順で受け付けます。

講師紹介



真下 聡

(まっか あきら)

1989年朝日新聞社入社、東京本社報道局デジタル編集長、デジタル担当補佐などを経て、現在、朝日新聞ジャーナリスト学校ディレクター



山瀬 一彦

(やませ かずひこ)

朝日新聞社入社、仙台、甲府支局を経て経済部、ワシントン特派員、be編集長、論説副主幹。現在、朝日新聞ジャーナリスト学校アドバイザースタッフ

■ 人に伝わる文章を書く技術を学ぶ

講師 山瀬 一彦、講師 真下 聡

基礎編

13:00~14:30
(90分)

第1回 1月29日(土)	読み手に伝わる書き方とは① (真下 聡)
第2回 2月5日(土)	わかる・伝わる文章のコツ(前編) (山瀬 一彦)
第3回 2月19日(土)	わかる・伝わる文章のコツ(後編) (山瀬 一彦)
第4回 2月26日(土)	読み手に伝わる書き方とは② (真下 聡)

(基礎編) : 人に伝わる文章を書く技術を学ぶ <講義とワーク>

- ・わかりやすく伝わる文章のコツを演習形式で学ぶ。
- ・読み手の興味を引き、最後まで読んでもらえる文章が書けることをめざす。(講座中に文章を書く課題が出ます。講師が講評を加えてお返します。)

■ 広報紙づくりの基本を学ぶ

講師 真下 聡

応用編

14:45~16:15
(90分)

第1回 1月29日(土)	読まれる記事の書き方
第2回 2月5日(土)	見出しのつけ方
第3回 2月19日(土)	読みやすい紙面の作り方 ①
第4回 2月26日(土)	読みやすい紙面の作り方 ②

(応用編) : 広報紙づくりの基本を学ぶ <講義とワーク>

- ・NPO活動・地域活動の広報・情報の周知を目的とした記事(行事の紹介、活動の報告など)の書き方のポイントを確認し、見出しのつけ方を学ぶ。
- ・レイアウトや写真・イラストの入れ方など、紙面づくりのポイントを学ぶ。

※カリキュラム・講師は都合により変更になる場合があります。



かながわコミュニティカレッジ

検索

【講座実施団体】 一般社団法人ソーシャルコーディネートかながわ

【協力】 朝日新聞ジャーナリスト学校

【申込み・問合せ】 かながわコミュニティカレッジ事務局

※日・月・祝日・年末年始を除く9時~17時45分開設

TEL:045-620-0743 FAX:045-620-0745

受講のご案内

- 【**受講対象**】神奈川県に在住・在勤・在学の方 または、
県内でボランティアやNPO等として活動又は活動を予定している方及び団体
- 【**申込方法**】電話・FAX・神奈川県のホームページ(e-kanagawa電子申請システム)のうちいずれかの方法で、
講座名・氏名・住所・区分(個人・団体)・電話番号をご連絡ください。
※団体で申込みされる場合、複数の方が1つの講座を交替で受講が可能です。ただし1回の講義に出席できる方は、1口のお申込みにつき1名です。
- 【**受講決定**・募集期間終了後、定員を超えた講座は抽選を行い、受講申込みをされた方全員に受講の可否を郵送で
受講料のお知らせします。
- 【**納付方法**】受講が決まった方に納付書をお送りしますので、受講料を最寄りの金融機関で納付してください。
(ゆうちょ銀行やコンビニエンスストアでの納付はできません。)なお、一度お納めいただいた受講料は、
主催者側の判断で講座を中止した場合を除き、原則返金できません。あらかじめご了承ください。
- 【**休講等**】講師の都合や交通機関の遅延・運休・自然災害等により当日の講義が実施不可能となった場合は休講とし、別の日に補講を実施します。※今後の新型コロナウイルス感染症感染拡大防止の観点から、講座日程の変更やオンライン講座への切り替え等、変更される場合があります。
- 【**修了証の交付**】講座開催コマ数の3分の2以上出席された方に、修了証を交付します(資格を付与するものではありません)。原則、団体として受講された場合には交付の対象としませんが、ご希望があれば、同じ方が3分の2以上出席された場合、その方のお名前でも交付も可能です。

新型コロナウイルス感染症感染拡大防止への取組みについて (ご協力のお願い)

かながわコミュニティカレッジでは、「かながわ県民活動サポートセンターにおける新型コロナウイルス感染拡大防止ガイドライン」に基づき、対策に取り組んでいます。受講のお申込みにあたっては、以下の点についてご理解とご協力をお願いいたします。

マスクの着用

- 講座の受講にあたっては、**マスクの着用をお願いします。**(講師及びスタッフもマスク等を着用いたします。)また、咳エチケットへのご協力をお願いします。

手洗い及びアルコール消毒

- 会場への入場時や休憩時等には、**こまめに手洗いをお願いします。**
- 会場入口にアルコール消毒液を設置しておりますので、入退出時の手指消毒をお願いします。

健康管理について

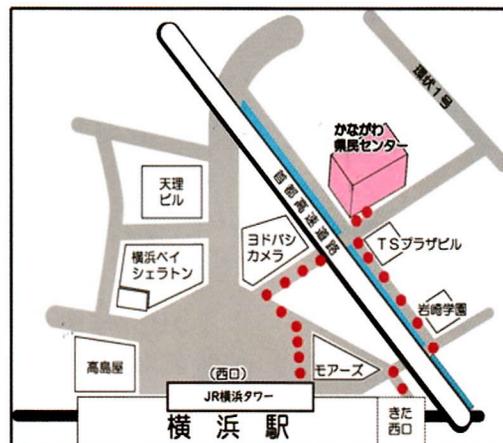
- 発熱又は風邪の症状が見られる場合には、受講を見合わせください。**
- 当日は**必ず検温の上、お越しください。**発熱のある方(37.5度を目安)は、会場への入場をお断りします。また、当日会場入口でも検温をいたします。

3つの密を避ける

- 机・椅子の配置は、間隔を空けています。講義中及び休憩中に定期的に窓を開け、換気をします。
- かながわ県民センター内のエレベーターは密を避けるため、1基6人までとなっております。混雑を避けるため、開場時間をご確認の上、時間に余裕をもってお越しください。

水分補給以外の飲食はできません

- かながわ県民センター内では、**水分補給以外の飲食はできません。**あらかじめご了承ください。



【**会場**】かながわコミュニティカレッジ講義室
【**住所**】横浜市神奈川区鶴屋町2-24-2
かながわ県民センター11階

【交通】

JR、京浜急行線、みなとみらい線、東急線、相鉄線ご利用の方
横浜駅西口より徒歩5分
横浜駅きた西口より徒歩3分
横浜市営地下鉄ご利用の方
地下鉄横浜駅出口8番から地下街を通り中央モールを左折し、北6番出口を出て徒歩2分

かながわコミュニティカレッジ講座受講申込書 (FAX申込用) 新聞記者に学ぶ情報発信スキルアップ講座 (NPO・ボランティア団体向け) FAX送信先：045-620-0745

お申込講座	(お申込み講座のどちらか、または両方を○で囲んでください。)		
	<input type="checkbox"/> 基礎編 (申込期限：1月13日) <input type="checkbox"/> 応用編 (申込期限：1月13日)		
ふりがな お名前	(団体申込みの場合は、団体名および代表者名)	区分	(どちらかに○をしてください) 個人・団体
ご住所	〒		
連絡先	TEL		FAX
	e-mail		パソコンからのメール 受信可能なもの